

健康のひろば

—18—

地元の医師がアドバイス

—視野がだんだん狭くなるような感じがしてならぬ

いのですが、白内障や緑内障慢性だと、徐々に進行すると言われたのですが、心配です。

(下川・主婦、六十七歳)

☆
緑内障は眼圧(目の硬さ)の異常などにより、神経が悪くなり次第に視野(見える範囲)が狭くなる病気。

白内障は目の中でピントを合わせる働

きをしている水晶体というレンズが濁る病気です。

緑内障、白内障、それぞれ違った病気ですが、残念ながら年齢とともに必ず悪化していきます。

また、特にこれといった病気がなくて

も年齢とともに身体全体が老化するわけですからどうしても目も見えづらくなっています。歳をとったのに若い頃よりも見えるようになることは残念ながらあ

りません。

白内障はいろいろな病気でなることも

ありますが、通常は老眼と同じく老化現象のひとつですのでどんな方でも歳をとると必ず白内障になりますし、必ず年齢とともに進行します。

白内障は悪化しても手術することにより視力が改善できる場合も多いわけですが、緑内障はそういうわけにはいきません。

が悪くなる病気で、一度悪くなった神経は元には戻りません。しかし、今は良い目薬もいろいろありますので早期発見、早期治療によりかなり進行を抑えることができるようになります。

緑内障は治せる病気ではないので、悪くならないように、長い間上手に付き合っていかなければならない病気なので、

それでも悪化する場合には緑内障の手術をする場合もありますが、悪くなった

神経が治る手術はなく、眼圧をコントロールするための手術に過ぎません。

少しずつ悪化していく病気ですが、それを少しでも遅らせるために定期的に受診し治療を継続する

ことが重要です。

緑内障の場合、お歳をとられてから目にも大きな不自由なく暮らしていくためには、早期からしっかりと治療を続けていくことが大切なのです。



(名寄市立総合病院 眼科医長・井上玲)

白内障は老化現象だが!